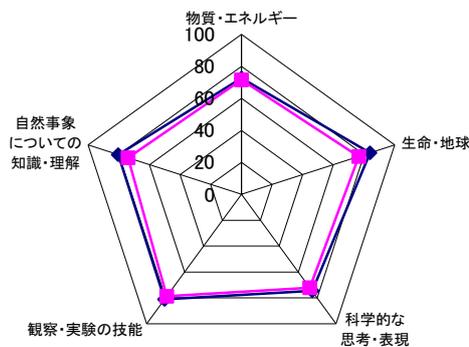


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	72.7	71.6	67.4
	生命・地球	83.9	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	74.6	72.1	68.8
	観察・実験の技能	81.1	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	80.3	73.9	71.5



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

—●— 本校 —■— 市

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○鉄やアルミニウムにうすい塩酸を注いだ時の変化を問う問題では、市の平均が60.9%に対し71.9%と11ポイント上回っている。</p> <p>●実験結果からふりこの性質を説明する問題では、正答率が55.5%と市の平均を6.9ポイント下回っている。</p>	<p>・ふりこの実験に関する全ての問題において市の平均を下回っていたため、実験の仕方を確認しながら再度復習をする。</p> <p>・実験後の結果を自分の言葉でまとめさせることで、科学的な表現力を高める。</p> <p>・基礎的な知識を活用しながら考える応用問題が苦手な傾向がみられる。基礎的な知識の定着を図るとともに、発展的な問題にも挑戦させながら思考力を伸ばしていく。</p>
生命・地球	<p>○血液から不要な物を取り除く器官を答える問題では、正答率が80.5%と市の平均を25.5ポイントと大きく上回っている。</p> <p>○だ液のはたらきを調べる実験の条件を修正する記述式の問題では、正答率が62.5%と市の平均を9.9ポイント上回っている。</p> <p>○生命・地球分野では全ての問題で市の平均を上回ることができた。</p>	<p>・単元テストの「動物のからだのつくりとはたらき」で苦手意識をもっていた児童が多かったため、今後も復習を重ねることで知識の定着を図っていきたい。</p>